

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">教育課程特講</p>	<p>対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">西川 信廣</p>
<p>授業テーマ</p> <p>いま、学校教育の基調の転換、教育内容の見直しや方法の問い直しが求められている。本講義では、教育課程編成の我が国における歴史的変遷、新しい教育課程の開発や編成に関する基本問題の解明をテーマとする。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>教育課程とは広義では学校教育活動の総体を意味し、狭義では各教科の教育内容を意味する。本講義は、広義での教育課程を考察の対象とし、学校教育活動の総体の目標、現状を把握し、ついで各教科の内容を検討することを目標とする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>平常点で評価する。積極的な授業参加を期待する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>授業の進捗状況を見て指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>その都度指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>授業は概ね以下のようなスケジュール・内容で進める。基本的には受講生とのディスカッションを重視する。</p> <p>1 回目：学校知の転換とは何か？</p> <p>2 回目：教育課程（カリキュラム）改革の歴史</p> <p>3 回目：教育課程編成の基本問題</p> <p>4 回目：21 世紀の学校と教育課程改革</p> <p>5 回目：少人数指導とは何か？</p> <p>6 回目：習熟度別指導とは何か？（1）</p> <p>7 回目：習熟度別指導とは何か？（2）</p> <p>8 回目：習熟度別指導と評価</p> <p>9 回目：小中一貫教育とは何か？</p> <p>10 回目：小中一貫教育の実践例（1）</p> <p>11 回目：小中一貫教育の実践例（2）</p> <p>12 回目：算数・数学の連続性、不連続性</p> <p>13 回目：小中一貫した国語科の指導とは？</p> <p>14 回目：小学校英語的活動の意義と課題（1）</p> <p>15 回目：小学校英語的活動の意義と課題（2）</p>		